学校番号	1004

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古文漢文講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「古典探究古文編」「古典探究漢文編」（筑摩書房）						
副教材等	「読解トレーニング古典の演習３」（啓隆社） 「九訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法」（数研出版） 「句法と語彙を一緒に学ぶ　新明説漢文」（尚文出版） 「新版　理解を深める核心古文単語 351」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「古典探究」で身に付けた力を基礎に、より本格的な古文・漢文を数多く読むことで、現代まで受け継がれてきた言語文化への理解をさらに深めるための科目です。
・古文、漢文の背景にある歴史、時代背景、関連する他の作品など、様々なつながりを意識しながら読解を深めていきましょう。
・古文、漢文を読むことで、社会の中で生きる人間という存在への関心を深めましょう。
・話し合いや文章記述、相互評価など、課題に対して自ら考え、周りの人と協働しながら考える活動を取り入れた授業を行います。
・単元の学習に入る前に、初読テストを行います。予習として必ず本文を読んでおきましょう。
・初読テストで、自分の読解の弱点を確認しましょう。授業中には弱点克服を念頭に、ノート作成に取り組みましょう。
・単元の終了時に、読解の深化を深めるための課題（レポート・話し合い・相互評価など）を設定します。
・古文、漢文の読解を支える基礎力向上のため、副読本（問題集）を毎週の課題として設定し、それについて小テストを実施します。継続的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	古典に表現されている世界を通して、論理的に考える力や強く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えある力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。古典に親しむことで、現代まで継承されてきた言語文化を理解し、生きたものとして、自らの生活に関連付けようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日記 ［教材］ 「夢よりもはかなき世の中を」(和泉式部日記)	a:本文中の助動詞や敬語の用法などの文法事項を理解している。 b[　読　]: 三人称的な視点で語られる日記文学という文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 日記文学であるが、物語ふうの記述が特徴的である本文を読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	説話 ［教材］「賀茂の祭りを見物する翁」(今昔物語集)	a:・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方についてりかいを深めている。 b[　読　]: 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:それぞれの登場人物の心情について文章にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	思想 ［教材］ 性悪(荀子)	a:古典の世界に親しむために必要な基本的句法(使役・否定反語)に留意し、構成や展開を的確に捉えている。 b[　読　]:書き手の考えや目的をとらえて、内容を解釈し、自分のものの見方や考え方を深めようとしている。 c:積極的に逸話を読み、「性悪説」についての筆者の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	評論 ［教材］ 「おもて歌」(無名抄)	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにし、文語のきまりについて理解している。 b[　読　]:歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 c:歌論を読み、和歌に関する多様な評価基準について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート

	随筆 ［教材］ 「里にまかでたるに」(枕草子)	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにし、文語のきまりについて理解している。 b[　読　]:・作者が感じたことに留意しつつ、作品の内容を読み取ろうとしている。 c:作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	小説 ［教材］ 「離魂記」(太平広記)	a:古典の世界に親しむために必要な基本的句法(疑問・否定)に留意し、構成や展開を的確に捉えている。 b[　読　]:構成や表現に留意しながら、物語の展開を正確に把握しようとしている。 c:積極的に物語を読んで、話のおもしろさについて、根拠を上げながら伝えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
2学期	物語 ［教材］ 「心づくしの秋」(源氏物語)	a:文語のきまりや訓読のきまりについて理解している。 b[　読　]:長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えている。 c:漢詩引用の効果について調べ、今までの学習を生かして調べたことをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	史伝 ［教材］ 「怒髪上衝冠」(史記)	a:古典の世界に親しむために必要な基本的な句法(二重否定・否定)に留意し、構成や展開を的確に捉えている。 b[　読　]:積極的に史伝を読み、藺相如・秦王、両者の人物像をまとめようとしている。 c:作者の考えや目的を捉えて、積極的に藺相如・秦王という二人の考え方に踏み込み説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	近世の文学 ［教材］ 「忍び扇の長歌」(西鶴諸国ばなし)	a:時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b[　読　]:古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをとおして自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	漢詩　古体詩 ［教材］ 「石壕吏」(杜甫)	a:漢詩特有の表現(定型・押韻・対句)に留意し、構成や展開、内容を的確に捉える。 b[　読　]:漢詩に表れる杜甫の社会に向けるまなざしについて理解を深めている。 c:詩に込められた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
3学期	文章 ［教材］ 「捕蛇者説」(唐宋八家文読本)	a:古典の世界に親しむために必要な基本的な句法(比較・仮定)に留意し、構成や展開を的確に捉えている。 b[　読　]:作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価している。 c:作者が今文章を著した目的を進んで説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振返りシート
	評論	a:他の作者の随筆と比べて，宣長の文章がどのような特徴があるか理解している。	ワークシート	ワークシート 定期考査	ワークシート

［教材］ 「師の説になづまざること」（玉勝間）	b[　読　]:作者の考え方を踏まえ，学問に対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:評論に表れる作者の考え方に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。	定期考査 小テスト		ノート 振返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間